序盤から本庄第一ペースで試合が進むが、入間向陽のディフェンス陣は集中を切らさず、なかなか決定的なチャンスを作らせない。

こう着した状態が続いたが、本庄第一は５４分にコーナーキックから⑨成澤が打点の高いヘディングシュートをネットに突き刺し、ついに均衡を破る。これで勝負は決まったかに見えたが、その直後に入間向陽の⑩深谷が本庄第一の一瞬の隙をついて豪快なミドルシュートを決め、同点に追いつく。勢いに乗る入間向陽は、その後に得たコーナーキックからゴール前で混戦になり、押し込めば一気に逆転という場面になったが、本庄第一がギリギリのところでクリアする。

延長戦が頭をよぎった後半追加タイム、本庄第一は左サイドの展開からクロスボールを入れると、逆サイドからフリーで走りこんだ⑩宮井がキーパーと１対１になり、一度はキーパーにセーブされるが、そのボールが宮井の膝に当たってゴールに吸い込まれた。

本庄第一は埼玉県代表としてインターハイ出場をかけて関東大会に出場する。